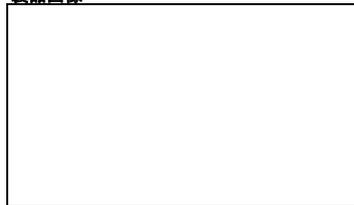


ICT機器・サービスのアクセシビリティ自己評価様式

作成日:2023年1月17日

企業・団体名	デジタル庁
ICT機器・サービス名称	デジタル庁ウェブサイト
型番	
ICT機器・サービス概要	
問合せ先	
ウェブサイトURL	https://www.digital.go.jp/

製品画像



機能性能

配慮対象アクセス	評価結果	概要
<p>視力なしでの使用(全盲)</p> <hr/> <p>製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、視力を必要としない操作モードが用意されているか</p>	部分的に対応している	<p>対応している達成基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1.1 非テキストコンテンツ 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み) 1.3.2 意味のある順序 1.3.3 感覚的な特徴 2.1.1 キーボード 2.1.2 キーボードトラップなし 2.4.1 ブロックスキップ 2.4.2 ページタイトル 2.4.3 フォーカス順序 2.4.5 複数の手段 2.4.6 見出し及びラベル 2.4.7 フォーカスの可視化 3.1.1 ページの言語 3.2.3 一貫したナビゲーション 3.2.4 一貫した識別性 3.3.1 エラーの特定 3.3.2 ラベル又は説明 4.1.1 構文解析 <p>対応が不十分な達成基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.2.5 音声解説(収録済み) 2.4.4 リンクの目的(コンテキスト内)
<p>限られた視力での使用(弱視、ロービジョン)</p> <hr/> <p>製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、限られた視力で対応可能な操作モードが用意されているか</p>	部分的に対応している	<p>対応している達成基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1.1 非テキストコンテンツ 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み) 1.3.2 意味のある順序 1.3.3 感覚的な特徴 1.4.3 コントラスト(最低限レベル) 1.4.4 テキストのサイズ変更 2.1.1 キーボード 2.1.2 キーボードトラップなし 2.4.1 ブロックスキップ 2.4.2 ページタイトル 2.4.3 フォーカス順序 2.4.5 複数の手段 2.4.6 見出し及びラベル 2.4.7 フォーカスの可視化 3.1.1 ページの言語 3.2.3 一貫したナビゲーション 3.2.4 一貫した識別性 3.3.1 エラーの特定 3.3.2 ラベル又は説明 4.1.1 構文解析 <p>対応が不十分な達成基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.2.5 音声解説(収録済み) 2.4.4 リンクの目的(コンテキスト内)

ICT機器・サービスのアクセシビリティ自己評価様式

色覚なしでの使用 製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、色覚を必要としない操作モードが用意されているか	対応している	対応している達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ 1.3.3 感覚的な特徴 1.4.1 色の使用 1.4.3 コントラスト(最低限レベル)
聴力なしでの使用(全ろう) 製品・サービスが聴覚的な操作モードで提供される場合、聴力を必要としない操作モードが用意されているか	部分的に対応している	対応している達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ 1.2.2 キャプション(収録済み) 1.3.3 感覚的な特徴 対応が不十分な達成基準 1.3.1 情報及び関係性
限られた聴力での使用(難聴) 製品・サービスが聴覚的な操作モードで行われる場合、強化された音声機能によって限られた聴力を補う操作モードが提供されているか	部分的に対応している	対応している達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ 1.2.2 キャプション(収録済み) 1.3.3 感覚的な特徴 対応が不十分な達成基準 1.3.1 情報及び関係性
発話能力なしでの使用 製品・サービスが発話による操作モードで行われる場合、音声入力を必要としない操作モードが用意されているか	対応している	対応している達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ 3.1.1 ページの言語 この項目に関して、「発話による操作モード」を持った支援技術を浅学ながら知らないため、実際に使えるかは分かりかねます。
限られた器用さ又は力での使用 製品・サービスが手の動作を必要とする場合、細かい運動制御等を必要としない操作モードが用意されているか	対応している	対応している達成基準 2.1.1 キーボード JIS X 8341-3:2016では、この項目と「限られた手の届く範囲での使用」の差異を確認することが難しいように思われます。
限られた手の届く範囲での使用 製品・サービスが手動による操作モードで提供される場合、手の届く範囲で、かつ限られた力に対応可能な操作モードが用意されているか	対応している	対応している達成基準 2.1.2 キーボードトラップなし JIS X 8341-3:2016では、この項目と「限られた器用さ又は力での使用」の差異を確認することが難しいように思われます。
光の点滅による影響の最小化(光感受性発作) 製品が視覚的な操作モードで提供される場合、光感受性発作を引き起こすリスクを最小化するような配慮がなされているか	対応する必要がない	対応するコンテンツがありません。

配慮対象アクセス	評価結果	概要
プライバシー 製品・サービスがアクセシビリティ機能を提供する場合、アクセシビリティ機能を使用するにあたりプライバシーが守られる操作モードが用意されているか	対応している	アクセシビリティに特化したプライバシーのモードはありません。一方、サイト全般にはプライバシーポリシーがあるためその内容で含まれます。 https://www.digital.go.jp/privacy-policy/

サポート対応 概要

配慮対象アクセス	評価結果	概要
ドキュメントとサポートサービス 製品の取扱説明書や問合せ先が提供されているか。また、アクセシビリティに配慮したサポート(取扱説明書、電話や手話(筆記)窓口、FAX等)が提供されているか。	対応している	アクセシビリティに特化したドキュメントとサポートサービスはありません。一方、サイト全般のご意見・ご要望を受け付けるフォームがあるため、そちらで代替可能です。 https://form-www.digital.go.jp/contact/

用いた技術基準

JIS X 8341-3:2016

免責事項

ウェブアクセシビリティの技術基準は特定の操作モードを想定していないため、「操作モードの提供」は保証しません。支援技術の対応内容に依存します。

プライバシー、コンテンツの利用、ウェブアクセシビリティ、閲覧環境、お問合せ先は「サイトポリシー」に書かれた内容のとおりです。
<https://www.digital.go.jp/site-policy/>

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄											
			評価	備考	視力なしでの使用 (全盲)	限られた視力での使用 (弱視)	色覚なしでの使用	聴力なしでの使用 (ろう)	限られた聴力での使用 (難聴)	発話能力なしでの使用	限られた語用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化 (光感受性発作)	
1	知覚可能な原則	情報及びユーザインタフェース コンポーネントは、利用者が知覚できる方法で利用者に表示可能でなければならない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.1	代替テキストのガイドライン	全ての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.1.1	非テキストコンテンツの達成基準	<p>利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。ただし、次の場合は除く (レベルA)。</p> <p>a) コントロール及び入力 非テキストコンテンツが、コントロール又は利用者を受け付けるものであるとき、その目的を説明する名前 (name) を提供している (コントロール及び利用者を受け付けるコンテンツに関するその他の要件は、4.1 参照。)</p> <p>b) 時間依存メディア 非テキストコンテンツが、時間に依存したメディアであるとき、代替テキストは、少なくとも、その非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している (メディアに関するその他の要件は、1.2 参照。)</p> <p>c) テキスト 非テキストコンテンツが、テキストで提示されると無効になるテキスト又は演習のとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。</p> <p>d) 感覚的 非テキストコンテンツが、特定の感覚的体験を創り出すことを主に意図しているとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。</p> <p>e) CAPTCHA 非テキストコンテンツが、コンピュータではなく人間がコンテンツにアクセスしていることを確認する目的で用いられているとき、代替テキストは、その非テキストコンテンツの目的を特定し、説明して、かつ、他の感覚による知覚に対応して出力するCAPTCHAの代替形式を提供すること。様々な障害に対応している。</p> <p>f) 装飾、整形及び像表示 非テキストコンテンツが、純粋な装飾である場合、見た目の整形のためだけに用いられている場合、又は利用者に提供されるものではない場合、その非テキストコンテンツは、支援技術によって無視されるように実装されている。</p>	○	ページのコンテンツ画像全てと、サイトのボタン・アイコンなどナビゲーション画像全てに代替テキストを付与しています。	●	●	●	●	●	●				
1.2	時間依存メディアのガイドライン	時間依存メディアには代替コンテンツを提供する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2.1	音声及び映像 (収録済み) の達成基準	<p>収録済みの音声しか含まないメディア及び収録済みの映像しか含まないメディアは、次の事項を満たしている。ただし、その音声又は映像がメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く (レベルA)。</p> <p>a) 収録済みの音声しか含まない場合 時間依存メディアに対する代替コンテンツによって、収録済みの音声しか含まないコンテンツと同等の情報を提供している。</p> <p>b) 収録済みの映像しか含まない場合 時間依存メディアに対する代替コンテンツ又は音トラックによって、収録済みの映像しか含まないコンテンツと同等の情報を提供している。</p>	- (対象外)	映像のみのコンテンツと音声のみのコンテンツはありませんでした。	●	●		●	●					
1.2.2	キャプション (収録済み) の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く (レベルA)。	○	大田の記者会見の内容を動画で公開するとともに、発言要旨として文字起こしして掲載しています。							●			
1.2.3	音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ (収録済み) の達成基準	同期したメディアに含まれている収録済みの映像コンテンツに対して、時間依存メディアに対する代替又は音声解説が提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替コンテンツであって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く (レベルA)。	○	大田の記者会見の内容を動画で公開するとともに、発話要旨をテキスト情報としてウェブページに掲載しています。	●	●								
1.2.4	キャプション (ライブ) の達成基準	同期したメディアに含まれている全てのライブの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている (レベルAA)。	- (対象外)	ライブ動画はありません。					●	●				
1.2.5	音声解説 (収録済み) の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの映像コンテンツに対して、音声解説が提供されている (レベルAA)。	×	イベントの録画動画のキャプションがありません。	●	●								
1.2.6	手話 (収録済み) の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの音声コンテンツに対して、手話通訳が提供されている (レベルAAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。					●	●				
1.2.7	拡張音声解説 (収録済み) の達成基準	前置音声の合間の時間が、音声解説で映像の意味を伝達するのに不十分な場合、同期したメディアに含まれている全ての収録済みの映像コンテンツに対して、拡張音声解説が提供されている (レベルAAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●								
1.2.8	メディアに対する代替コンテンツ (収録済み) の達成基準	全ての収録済みの同期したメディア及び全ての収録済みの映像しか含まないメディアに対して、時間依存メディアに対する代替コンテンツが提供されている (レベルAAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●								
1.2.9	音声 (ライブ) の達成基準	ライブの音声しか含まないコンテンツに対して、それと同等の情報を提示する、時間依存メディアの代替コンテンツが提供されている (レベルAAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。					●	●				
1.3	適応可能なガイドライン	情報、及び構造を損なうことなく、様々な方法 (例えば、よりシンプルなレイアウト) で提供できるようにコンテンツを制作する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1	情報及び関係性の達成基準	何らかの形で提示されている情報、構造、及び関係性は、プログラムによる解釈が可能である。又はテキストで提供されている (レベルA)。	×	一部の文章で、箇条書きがリストとしてマークアップされていませんでした。						●	●			
1.3.2	意味のある順序の達成基準	コンテンツが提示されている順序が意味に影響を及ぼす場合には、正しく読み順序はプログラムによる解釈が可能である (レベルA)。	○	ページレイアウトとスクリーンリーダーでの読み上げ順が一致している状態です。	●	●								

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用 (全盲)	限られた視力での使用 (弱視)	色覚なしでの使用	聴力なしでの使用 (全聴覚障害)	限られた聴力での使用 (難聴)	発話能力なしでの使用	限られた発話能力での使用	限られた手の届く範囲での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化 (光感受性発作)
			評価	備考										
1.3.3	感覚的な特徴の達成基準	コンテンツを理解し操作するための説明は、形、大きさ、視覚的な位置、方向、又は音のような、構成要素がもつ感覚的な特徴だけに依存していない (レベル A)。	○	感覚的な特徴による説明や文章はありません。	●	●	●	●	●					
1.4	判別可能なガイドライン	コンテンツを、利用者にとって見やすく、聞きやすいものにする。これには、前景と背景とを区別することも含む。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.4.1	色の使用の達成基準	色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段になっていない (レベル A)。	○	色だけで情報を区分したり伝えているコンテンツはありません。			●							
1.4.2	音声の制御の達成基準	ウェブページ上にある音声は自動的に再生され、3秒より長く続く場合、その音声を一時停止若しくは停止するメカニズム、又はシステム全体の音量レベルに影響を与えずに音量レベルを調整できるメカニズムが利用できる (レベル A)。	- (対象外)	音声は自動再生されるコンテンツはありません。					●					
1.4.3	コントラスト (最低限レベル) の達成基準	テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がある。ただし、次の場合は除く (レベル AA)。 a) 大きな文字サイズの大きなテキスト及びサイズの大きな文字画像には、少なくとも3:1のコントラスト比がある。 b) 附随的テキスト又は文字画像において、次の場合はコントラストの要件はない。アクティブではないユーザインタフェース コンポーネントの一部である、純粋な装飾である、誰も視覚的に確認できない、又は重要な他の視覚的なコンテンツを含む写真の一部分である。 c) ロゴタイプ ロゴ又はブランド名の一部である文字には、最低限のコントラストの要件はない。	○	すべての文字は背景のコントラスト比は4.5:1以上になっています。		●	●							
1.4.4	テキストのサイズ変更の達成基準	キャプション及び文字画像を除き、テキストは、コンテンツ又は機能を損なうことなく、支援技術なしで200%までサイズ変更できる (レベル AA)。	○	サイトのすべての文字は200%以上の文字サイズに拡大可能です。		●								
1.4.5	文字画像の達成基準	使用している技術で意図した視覚的提示が可能である場合、文字画像ではなくテキストが情報伝達に用いられている。ただし、次に挙げる場合を除く (レベル AA)。	- (対象外)	文字画像を使用していません。	●	●	●							
1.4.6	コントラスト (高度レベル) の達成基準	テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも7:1のコントラスト比がある。ただし、次の場合は除く (レベル AAA)。 a) 大きな文字サイズの大きなテキスト及びサイズの大きな文字画像には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がある。 b) 附随的テキスト又は文字画像において、次の場合はコントラストの要件はない。アクティブではないユーザインタフェース コンポーネントの一部である、純粋な装飾である、誰も視覚的に確認できない、又は重要な他の視覚的なコンテンツを含む写真の一部分である、ラスト比がある。 c) ロゴタイプ ロゴ又はブランド名の一部である文字には、最低限のコントラストの要件はない。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。		●	●							
1.4.7	小さな背景音、又は背景音なしの達成基準	収録済みの音声しか含まないコンテンツで、(1) 前景に主として発話を含み、(2) 音声CAPTCHA又は音声ロゴではなく、かつ、(3) 例えば、歌、ラップなどのように、主として音楽表現を意図した発声ではないものについては、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている (レベル AAA)。 a) 背景音なし 音声は背景音を含まない。 b) 消音 背景音を消すことができる。 c) 20 デシベル 背景音は、前景にある発話のコンテンツより少なくとも20 デシベルは低い。ただし、継続時間が2秒以内で発生頻度が低い背景音は除く。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。					●					
1.4.8	視覚的提示の達成基準	テキストブロックの視覚的提示において、次を実現するメカニズムが利用できる (レベル AAA)。 a) 利用者が、前景色と背景色とを選択できる。 b) 幅が80字を超えない (全角文字の場合は、40字)。 c) テキストが、均等割付けされていない [間隔そろ (揃) えではない。]。 d) 段落中の行送り、少なくとも1.5文字分である。そして、段落の間隔は、その行送りの少なくとも1.5倍以上ある。 e) テキストは、支援技術なしで200%までサイズ変更でき、利用者が全面表示にしたウィンドウで行のテキストをスクロールする必要がある。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。		●	●							
1.4.9	文字画像 (例外なし) の達成基準	文字画像は、純粋な装飾に用いられているか、又はテキストの特定の表現が伝えようとする情報にとって必要不可欠である場合に用いられている (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。			●							
2	操作可能な原則	コンポーネント及びナビゲーションは、操作可能でなければならない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1	キーボード操作可能なガイドライン	全ての機能をキーボードから利用できるようにする。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1.1	キーボードの達成基準	コンテンツの全ての機能は、個々のキーボードローキに特定のタイミングを要することなく、キーボードインタフェースを通じて操作可能である。ただし、その根本的な機能が利用者の動作による始点から終点まで続く一連の軌跡に依存して実現されている場合は除く (レベル A)。	○	すべての操作と閲覧をキーボードを使ってできます。	●	●						●		
2.1.2	キーボードトラップなしの達成基準	キーボードインタフェースを用いてキーボードフォーカスをそのウェブページのあるコンポーネントに移動できる場合、キーボードインタフェースだけを用いてそのコンポーネントからフォーカスを外すことが可能である。さらに、修飾キーを伴わない矢印キー、Tab キー、又はフォーカスを外すその他の標準的な方法でフォーカスを外せない場合は、フォーカスを外す方法が利用者に通知される (レベル A)。	○	利用者がコンテンツに閉じ込められることはありません。	●	●							●	

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用 (全盲)	限られた視力での使用 (弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用 (全聴)	限られた聴力での使用 (難聴)	発話能力なしでの使用	限られた発話能力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化 (光感受性発作)
			評価	備考									
2.1.3	キーボード (例外なし) の達成基準	コンテンツの全ての機能は、個々のキーストロークに特定のタイミングを要することなく、キーボードインタフェースを通じて操作可能である (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。									
2.2	十分な時間のガイドライン	利用者がコンテンツを読み、かつ、使用するために十分な時間を提供する。	-	-									
2.2.1	タイミング調整可能な達成基準	コンテンツに制限時間を設定する場合は、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている (レベル A)。 a) 解除 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者がその制限時間を解除することができる。 b) 調整 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者が少なくともデフォルト設定の10倍を超える、大幅な制限時間の調整をすることができる。 c) 延長 時間切れになる前に利用者に警告し、かつ、少なくとも20秒間の猶予をもって、例えば「スペースキーを押す」などの簡単な操作によって、利用者が制限時間を少なくとも10倍以上延長することができる。 d) リアルタイムの例外 リアルタイムのイベント (例えば、オークション) において制限時間が必須の要素で、その制限時間に代わる手段が存在しない。 e) 必要不可欠な例外 制限時間が必要不可欠なもので、制限時間を延長することがコンテンツの動作を無効にすることになる。 f) 20秒間の例外 制限時間が20秒間よりも長い。	- (対象外)	制限時間のあるコンテンツはありません。	●	●				●			
2.2.2	一時停止、停止及び非表示の達成基準	動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報は、次の全ての事項を満たしている (レベル A)。 a) 動き、点滅又はスクロール 動きのある、点滅している、又はスクロールしている情報が、(1) 自動的に開始し、(2) 5秒よりも長く継続し、かつ、(3) その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、又は非表示にすることのできるメカニズムがある。ただし、その動き、点滅、又はスクロールが必要不可欠な動作の一部である場合は除く。 b) 自動更新 自動更新する情報が、(1) 自動的に開始し、かつ、(2) その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、若しくは非表示にする、又はその更新頻度を調整することのできるメカニズムがある。ただし、その自動更新が必要不可欠な動作の一部である場合は除く。	- (対象外)	動きのある、点滅する、スクロールするコンテンツはありません。									
2.2.3	タイミング非依存の達成基準	タイミングは、コンテンツによって提示されるイベント又は動作の必要不可欠な部分ではない。ただし、インタラクティブではない同期したメディア及びリアルタイムのイベントは除く (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。	●	●		●	●				
2.2.4	読み込みの達成基準	読み込みは、利用者が延期、又は抑制することができる。ただし、緊急を要する読み込みは除く (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。	●	●		●	●				
2.2.5	再認証の達成基準	認証済みのセッションが切れた場合は、再認証後でもデータを失うことなく利用者が操作を継続できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。	●	●		●	●				
2.3	発作の防止のガイドライン	発作を引き起こすようなコンテンツを設計しない。	-	-									
2.3.1	3回のせん (閃) 光、又はしきい (閾) 値以下の達成基準	ウェブページには、どの1秒間においても3回を超えるせん (閃) 光を放つものがない、又はせん (閃) 光が一般せん (閃) 光しきい (閾) 値及び赤色せん (閃) 光しきい (閾) 値を下回っている (レベル A)。	- (対象外)	しきい値を超える閃光・赤色閃光を放つ動画とアニメーションはありません。									●
2.3.2	3回のせん (閃) 光の達成基準	ウェブページには、どの1秒間においても3回を超えるせん (閃) 光を放つものがない (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。									●
2.4	ナビゲーション可能なガイドライン	利用者がナビゲートしたり、コンテンツを探し出したり、現在位置を確認したりすることを手助けする手段を提供する。	-	-									
2.4.1	ブロックスキップの達成基準	複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる (レベル A)	○	スキップナビゲーション、見出しジャンプ、ランドマークジャンプを備えます。	●	●							
2.4.2	ページタイトルの達成基準	ウェブページには、主題又は目的を説明したタイトルがある (レベル A)	○	ページ内容に合致したページタイトルがつけられています。	●	●							
2.4.3	フォーカス順序の達成基準	ウェブページが順を追ってナビゲートできて、そのナビゲーション順が意味又は操作に影響を及ぼす場合、フォーカス可能なコンポーネントは、意味及び操作性を損なわない順序でフォーカスを受け取る (レベル A)	○	ページ内のコンテンツ順に従ってフォーカスできます。	●	●							
2.4.4	リンクの目的 (コンテキスト内) の達成基準	それぞれのリンクの目的が、リンクのテキスト単独で判断できるか、又はリンクのテキストとプログラムによる解釈が可能なリンクのコンテキストとから判断できる。ただし、リンクの目的がほとんど利用者にとって曖昧な場合は除く (レベル A)。	×	ウェブページにURLがそのままだけで記載されています。かつ、見出しとURLが1対1で対応している。個々の要素の間の関係が不明です。	●	●							
2.4.5	複数の手段の達成基準	ウェブページ一式の中で、あるウェブページを見つける複数の手段が利用できる。ただし、ウェブページが一連のプロセスの中の1ステップ又は結果である場合は除く (レベル AA)。	○	サイト内検索とサイトマップを用意しています。	●	●							
2.4.6	見出し及びラベルの達成基準	見出し及びラベルは、主題又は目的を説明している (レベル AA)。	○	説明的な見出しとラベルを使っています。	●	●							
2.4.7	フォーカスの可視化の達成基準	キーボード操作が可能なあらゆるユーザーインタフェースには、フォーカスインジケータが見える操作モードがある (レベル AA)	○	視覚的に優れたフォーカスインジケータを備えています。	●	●							
2.4.8	現在位置の達成基準	ウェブページ一式の中で利用者の位置に関する情報が利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っています。	●	●							

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄											
			評価	備考	視力なしでの使用 (全盲)	限られた視力での使用 (弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用 (全聴覚障害)	限られた聴力での使用 (難聴)	発話能力なしでの使用	限られた発話能力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化 (光感受性発作)	
2.4.9	リンクの目的 (リンクだけ) の達成基準	それぞれのリンクの目的、リンクのテキスト単独で特定できるメカニズムが利用できる。ただし、リンクの目的がほとんどの利用者にとって曖昧な場合は除く (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●								
2.4.10	セクション見出しの達成基準	セクション見出しを用いて、コンテンツが整理されている (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●								
3	理解可能な原則	情報及びユーザーインターフェースの操作は、理解可能でなければならない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1	読みやすさのガイドライン	テキストのコンテンツを読みやすく理解可能にする。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1.1	ページの言語の達成基準	それぞれのウェブページのデフォルトの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である (レベル A)。	○	HTML要素の言語属性を使っています。	●	●					●			
3.1.2	一部分の言語の達成基準	コンテンツの一部、又は語句それぞれが自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である。ただし、固有名称、技術用語、言語が不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部になっている単語又は語句は除く (レベル AA)。	- (対象外)	複数の言語で書かれているページはありません。	●	●					●			
3.1.3	一般的ではない用語の達成基準	慣用語及び専門用語を含めて、一般的ではない用法又は限定された用法で使われている単語又は語句の、明確な定義を特定するメカニズムが利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●					●			
3.1.4	略語の達成基準	略語の元の語、又は意味を特定するメカニズムが利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●					●			
3.1.5	読解レベルの達成基準	固有名称及び題名を取り除いた状態で、テキストが前期中等教育レベルを超えた読解力を必要とする場合は、補足コンテンツ又は前期中等教育レベルを超えた読解力を必要としない版が利用できる (レベルAAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	-	-					-			
3.1.6	発音の達成基準	文脈において、発音が分からない単語の意味が不明瞭になる場合、その単語の明確な発音を特定するメカニズムが利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●					●			
3.2	予測可能なガイドライン	ウェブページの表示及び挙動を予測可能にする。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.1	フォーカス時の達成基準	いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときにコンテンツの変化を引き起こさない (レベル A)。	- (対象外)	フォーカス時に変化するUIとコンテンツはありません。	●	●								
3.2.2	入力時の達成基準	ユーザーインターフェースコンポーネントの設定を変更する操作が、コンテンツの変化を自動的に引き起こさない。ただし、利用者が使用する前にその挙動を知らせてある場合を除く (レベル A)。	- (対象外)	入力時に変化するUIとコンテンツはありません。	●	●								
3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準	ウェブページ中にある複数のウェブページ上で繰り返されているナビゲーションのメカニズムは、繰り返されるたびに相対的に同じ順序で出現する。ただし、利用者が変更した場合は除く (レベル AA)。	○	ヘッダー、フッター、グローバルナビゲーションは全ページ間一貫したUIを使っています。	●	●								
3.2.4	一貫した識別性の達成基準	ウェブページ一式の中で同じ機能をもつコンポーネントは、一貫して識別できる (レベル AA)。	○	サイトのUIはサイトで一貫した名称と役割になっています。	●	●								
3.2.5	要求による変化の達成基準	コンテンツの変化は利用者の要求によってだけ生じるか、又は、そのような変化を止めるメカニズムが利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	●	●								
3.3	入力支援のガイドライン	利用者の間違いを防ぎ、修正を支援する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1	エラーの特定の達成基準	入力エラーが自動的に検出された場合は、エラーとなっている箇所が特定され、そのエラーが利用者にテキストで説明される (レベル A)。	○	ご意見・ご要望ページで入力内容に誤りがある場合は、エラーメッセージでその内容を詳しくご意見・ご要望ページでフォームの入力項目はラベルが付いています。	●	●								
3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	コンテンツが利用者の入力に要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている (レベル A)。	○	ご意見・ご要望ページで入力エラーがあった時のメッセージが「このフィールドを入力してください」という共通メッセージのため	●	●								
3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	入力エラーが自動的に検出され、修正方法を提案できる場合、その提案が利用者に提示される。ただし、セキュリティ又はコンテンツの目的を損なう場合は除く (レベル AA)。	×		-	-								
3.3.4	エラー回避 (法的、金融及びデータ) の達成基準	利用者にとって法律行為若しくは金融取引が生じる、利用者が制御可能なデータレージシステム上のデータを変更若しくは削除する、又は利用者が試験の解答を送信するウェブページでは、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている (レベル AA)。 a) 取消 送信を取り消すことができる。 b) チェック 利用者が入力したデータの入力エラーがチェックされ、利用者には修正する機会が提供される。 c) 確認 送信を完了する前に、利用者が情報の見直し、確認及び修正をするメカニズムが利用できる。	- (対象外)	該当する入力箇所はありません。	-	-								
3.3.5	ヘルプの達成基準	コンテンツに応じたヘルプが利用できる (レベル AAA)。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	-	-								
3.3.6	エラー回避 (全て) の達成基準	利用者に情報の送信を要求するウェブページでは、次に挙げる事項のうち、少なくとも一つを満たしている (レベル AAA)。 a) 取消 送信を取り消すことができる。 b) チェック 利用者が入力したデータの入力エラーがチェックされ、利用者には修正する機会が提供される。 c) 確認 送信を完了する前に、利用者が情報の見直し、確認及び修正をするメカニズムが利用できる。	- (対象外)	レベルAAAの達成基準は試験を行っていません。	-	-								

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄										
			評価	備考	視力なしでの使用（全盲）	限られた視力での使用（弱視）	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用（全ろう）	限られた聴力での使用（難聴）	発話能力なしでの使用	限られた語用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化（光感受性発作）
4	堅ろう（牢）（Robust）の原則	コンテンツは、支援技術を含む様々なユーザーエージェントが確実に解釈できるように十分に堅ろう（牢）（robust）でなければならない。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4.1	互換性のガイドライン	現在及び将来の、支援技術を含むユーザーエージェントとの互換性を最大化する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4.1.1	構文解析の達成基準	マークアップ言語を用いて実装されているコンテンツにおいては、要素には完全な開始タグ及び終了タグがあり、要素は仕様に従って入れ子になっていて、要素には重複した属性がなく、どのID も一意的である。ただし、仕様で認められているものを除く（レベル A）。	○	Nu HTML Checker でエラーのないことを確認しています。	●	●							
4.1.2	名前（name）、役割（role）及び値（value）の達成基準	全てのユーザーインタフェース コンポーネント（フォームを構成する要素、リンク、スクリプトが生成するコンポーネントなど）では、名前（name）及び役割（role）は、プログラムによる解釈が可能である。また、状態、プロパティ及び利用者が設定可能な値はプログラムによる設定が可能である。そして、支援技術を含むユーザーエージェントが、これらの項目に対する変更通知を利用できる（レベル A）	○	HTMLで表現可能なUIとナビゲーションはHTMLで表現しています。HTMLで表現することが難しいUIとナビゲーションはWAI-ARIAを使って表現しています。	—	—	—	—	—	—	—	—	—